

異分野の人たちと交流してみませんか？

環境系微生物合同大会 2017（仙台）8月29日、30日

日本食品微生物学会の会員は下記大会で発表する権利と会員価格で参加する権利を有します。また、下記大会で開催される12のシンポジウムのうち1シンポジウムは、日本食品微生物学会が責任開催するシンポジウムです。

環境微生物系学会合同大会 2017 開催案内

今年度の大会は、5学会（日本微生物生態学会、日本土壌微生物学会、環境バイオテクノロジー学会、日本菌学会、日本微生物資源学会）共催の合同大会として開催いたします。環境微生物系学会による合同大会は、2014年の浜松大会に続く二度目となりますが、今回は、協賛・後援学会も含めると17学会・3団体と大幅に増えました。詳細については、本大会ホームページに順次掲載する情報をご覧ください。

会期 2017年8月29日（火）～8月31日（木）

会場 東北大学川内北キャンパス 講義棟他（〒980-8576 仙台市青葉区川内41）

東北大学百周年記念会館川内萩ホール（8月30日記念講演）

（〒980-8576 仙台市青葉区川内40）

仙台国際ホテル（8月30日懇親会）（〒980-0021 仙台市青葉区中央4-6-1）

大会ホームページ <http://environmental-microbiology.org/2017/index.html>

関係学会・団体

共催 日本微生物生態学会、日本土壌微生物学会、環境バイオテクノロジー学会、日本菌学会、日本微生物資源学会、東北大学大学院生命科学研究科

協賛 日本ゲノム微生物学会、極限環境生物学会、日本 Archaea 研究会、日本食品微生物学会、日本植物病理学会、日本放線菌学会、日本バイオインフォマティクス学会、日本ウイルス学会

後援 日本微生物学連盟、日本きのこ学会、日本生物工学会、日本細菌学会、日本農芸化学会、日本学術会議

参加登録

参加登録 WEB システム（大会ホームページにリンク：2017 年 5 月 31 日締め切り）を用いた事前申込をお願いします。それ以外の場合は、当日の会場受付でお申し込みください。

大会参加費

		事前申込（5 月 31 日まで）	当日申込
会員（共催 5 学会・ <u>協賛 8 学会</u> ）	正会員	<u>9,000 円</u>	<u>12,000 円</u>
	学生会員	4,000 円	6,000 円
非会員*	一般	12,000 円	14,000 円
	学生	6,000 円	7,000 円

*上記後援学会の会員であっても、共催・協賛学会のいずれの会員でもない場合は「非会員」扱いとなります。

懇親会参加費

	事前申込（5 月 31 日まで）	当日申込
一般（正会員）	7,000 円	9,000 円
学生	5,000 円	7,000 円

支払い方法

事前申込の場合は、クレジットカードまたは銀行口座振込にてお支払いください（詳細は登録システム上に掲載）。当日申込の場合は、会場受付で現金またはクレジットカードにてお支払いください。

一般講演

口頭発表とポスター発表から選択できます。

発表資格 発表者（連名の場合、代表して発表する方）が共催 5 学会・協賛 8 学会・後援 4 学会のいずれか一つの会員であれば、発表申し込みできます。

申込方法 演題登録 WEB システム（大会ホームページにリンク）から、演題・発表者名・要旨等の必要項目を入力してください。

締め切り 2017 年 4 月 28 日（金）

ポスター賞

選考対象希望のポスター発表演題の中から、カテゴリー（学部学生および修士課程大学院生／博士課程大学院生／博士号取得者）別に優秀発表賞を選定します。

シンポジウム

共催・協賛学会が企画したシンポジウム（全12シンポジウム）は大会ホームページに掲載されております。

***** 本大会で日本食品微生物学会が責任開催するシンポジウム *****

ゲノムシーケンス技術・方法論の発展はどのように環境系微生物学分野の未来を変えていくのか？

責任学会 日本食品微生物学会

協力学会 ゲノム微生物学会、日本土壌微生物学会、バイオインフォマティクス学会

次世代シーケンシングをはじめとしたゲノム解析技術およびその活用のためのバイオインフォマティクスの最新情報を展望するとともに、それらの技術の活用によって環境系微生物学の未来はどのように変わっていくのかについて、土壌微生物学分野と食品微生物学分野の例をもとに議論する。

1. PacBio を用いたバクテリアのメチローム解析 古田芳一（北海道大学）
2. 我々の生活と携帯型 DNA シーケンサー 丸山史人（京都大学）
3. 土壌層位形成過程や土壌団粒構造の微生物群集構造解析 西澤智康・太田寛行（茨城大学）
4. 次世代 DNA シーケンサーの活用が食品微生物学分野にもたらしているインパクトとさらなる未来予測 木村 凡（東京海洋大学）

5. パネルディスカッション

座長： 岩崎 渉（東京大学）、木村 凡（東京海洋大学）

大会日程（予定）

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| 8月28日（月） | （編集委員会、評議員会、若手の会等） |
| 8月29日（火） | 口頭発表、ポスター発表、シンポジウム（4件）、高校生ポスター、ミキサー |
| 8月30日（水） | 口頭発表、ポスター発表、記念講演、高校生ポスター、懇親会 |
| 8月31日（木） | 口頭発表、 <u>シンポジウム（12件）</u> |

会場へのアクセス方法

東北大川内北キャンパス・萩ホール

地下鉄東西線 川内駅下車（南 2 番出口）

市営バス（運行本数が少ないので注意）

仙台駅前のりば 15-1 または 15-2 から広瀬通・二高県美術館経由交通公園・川内（営）
行き、または広瀬通・二高県美術館・交通公園経由交通公園循環 「川内駅」下車

仙台国際ホテル

JR 仙台駅、地下鉄東西線青葉通一番町駅（南 1 番出口）から徒歩 5 分

宿泊施設の案内・予約、託児所 大会ホームページで順次ご案内いたします。

国際シンポジウム 9月1日（金）／東北大学川内北キャンパス・マルチメディア棟

本合同大会参加者は、同じ会場で引き続き開催される国際シンポジウムに参加できます。
詳細は大会ホームページでご案内いたします。

問い合わせ先

環境微生物系学会合同大会 2017 実行委員会

委員長 南澤 究

総務担当 永田裕二、三井久幸

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学大学院生命科学研究科

Eメール（共通） microbiologyGodo2017@ige.tohoku.ac.jp

日本食品微生物学会での問い合わせ先

日本食品微生物学会 日本微生物学連盟担当理事

木村 凡（東京海洋大学）

TEL/FAX: 03-5463-0603、e-mail: kimubo@kaiyodai.ac.jp